

総量削減専門委員会（第1回～第3回）における主な指摘事項等について

【第1回委員会関係】

指摘事項	対応
<b>資料3-2 総量削減専門委員会における検討の進め方について（案）</b>	
次期計画の検討のため、第8次の目標に対する実績値（最新のもの）がほしい。	令和元年度の負荷量実績は集計中のため平成30年度の負荷量実績を提示。 →資料2「3. 第8次水質総量削減の削減目標量の進捗状況」
気候変動による影響についてヒアリングを実施する予定はあるか。	水環境に関連する最新の気候変動の知見を整理。 →資料3「6. 気候変動による水質影響」、資料5「1-7. 気候変動による水質影響」
<b>資料4-1 汚濁負荷量の状況</b>	
CODが易分解性であるか、難分解性であるかの内訳を考慮することはできないか。	易分解性、難分解性に係る知見を整理。 →資料5「1-2. 閉鎖性海域における難分解性有機物について」
昭和54年～平成11年の大阪湾等の窒素・りん負荷量のデータを表に掲載できないか。	関係都府県による推計値を表に追記。 →資料5「1-1. 汚濁負荷量の状況について」
その他系の原単位について示してほしい。継続性の観点からも大事だが、最新の科学的知見をもって議論する必要もある。	最新の発生負荷量等算定調査において各都府県で用いた原単位を整理。 →資料5「1-4. 発生負荷量等算定調査における原単位について」
各水域の指定地域内事業場ごとの負荷量及び平均水質の表に、CODだけでなく窒素・りんについても示してほしい。	各水域の指定地域内事業場ごとの窒素・りん負荷量及び平均水質の表を追加。 →資料5「1-1. 汚濁負荷量の状況について」
ほとんどの業種はCODの濃度が低下しているが、単独処理浄化槽は上昇している。原因は何か。	単独処理浄化槽に係る情報及び負荷量・平均水質のデータを精査。 →資料5「1-3. 単独処理浄化槽におけるCODの平均水質について」
<b>資料4-2 水環境の現状</b>	
東京湾について、負荷量が削減されているものの水質が改善されていないと記載されているが、より詳細に現状を見てほしい。	情報を整理し、表現を再考。 →資料5「1-5. 水環境の現状（底層溶存酸素量、貧酸素水塊、クロロフィルa）について」

指摘事項	対応
<b>資料5 瀬戸内海における今後の環境保全の方策の在り方について</b>	
瀬戸内海の環境保全に係る答申中に、瀬戸内海の漁獲量のデータがあるが、東京湾・伊勢湾についても同様の資料があるとよい。	東京湾、伊勢湾についても同様の資料を作成。 →資料5「1-6. 各指定水域における漁獲量について」
<b>全体質疑</b>	
化学肥料の量等についても示してほしい。	肥料の使用実態について整理。 →資料5「2-4. 肥料の使用実態について」
東京湾のシルト・粘土分が近年ほぼ100%となっている原因は何か。	現状、知見がなく原因は不明。

【第2回委員会関係】

指摘事項	対応
<b>資料3 下水道における汚濁負荷対策等の取組状況について</b>	
合流式下水道からの越流水による COD・窒素・りん の負荷量はどれくらいか。	既存の知見等をもとに出水時負荷量の概況を整理。 →資料5「2-1. 合流式下水道の越流水による負荷について」
季節別運転管理はどのように行われているか、効果は出ているのか。	実施事例や効果に係る知見を提示。 →資料5「2-2. 下水処理場の季節別管理運転の実施状況について」
高度処理化による負荷削減量を算出することは可能か。	算定が困難であることから、代替し得るものとして、高度処理法による窒素・りんの除去率を提示。 →資料5「2-3. 下水処理場の高度処理化による負荷量の削減効果について」
<b>資料5 環境保全型農業の推進</b>	
農業における施肥量の削減等の取組により、農地へのインプットがどのように変化しているのかを踏まえた議論が必要。肥料全体の使用量はどのように変化しているか。	肥料の使用実態について整理。 →資料5「2-4. 肥料の使用実態について」
<b>資料6 畜産環境をめぐる情勢</b>	
家畜排せつ物は農地にどれくらい戻っているのか。処理状況を整理してほしい。	家畜排せつ物の利用状況について、既往の文献をもとに整理。 →資料5「2-5. 家畜排せつ物の利用状況について」
<b>資料7 養殖漁場の環境改善及び海域における気候変動の影響</b>	
漁獲量のデータを示してほしい。	漁獲量に係るデータを整理。 →資料5「1-6. 各指定水域における漁獲量について」
<b>資料10 鉄鋼業における総量削減への取組み</b>	
投資額と COD・窒素負荷量を水域ごとに整理しているが、瀬戸内海を湾灘レベルで整理することは可能か。	湾灘ごとの投資額のデータが無いことから、負荷量のみ湾灘ごとに整理。 →資料5「2-6. 鉄鋼業界における投資額と負荷量について（瀬戸内海）」

【第3回委員会関係】

指摘事項	対応
<b>資料2 製紙業界の水質下水道における汚濁負荷対策等の取組状況について</b>	
排水中の浮遊物質量は把握しているか。	排水中の浮遊物質量について整理。 →資料5「3-1. 製紙業界における排水中の浮遊物質量及び水の回収率について」
製紙業では水を多量に使うとのことだが、回収率はどの程度か。	工程内での水の再利用等の状況については情報なし。 →資料5「3-1. 製紙業界における排水中の浮遊物質量及び水の回収率について」
<b>資料3 東京湾の漁業と漁場環境</b>	
海がきれいになったが魚が獲れなくなったとの話だが、漁獲量が増えた魚種もある。漁獲量の増減が著しい魚種等についても情報を提供してほしい。	関係都府県から提供されたデータをもとに整理。 →資料5「1-6. 各指定水域における漁獲量について」
<b>資料5 東京都における汚濁負荷削減対策と水質改善の取組について</b>	
合流式下水道での雨水対策は重要。貯留槽の設置による負荷量の削減や水質への影響等の効果を教えてほしい。	合流式下水道への対策による効果について、既往の文献をもとに整理。 →資料5「3-3. 東京湾における合流式下水道への対策による効果について」
<b>資料9 兵庫県における水質総量削減の現状と課題</b>	
イカナゴ漁獲量と水温の関係は調べたか。また、シミュレーションの資料も提供してほしい。	兵庫県資料を提示。 →資料5「3-4. 兵庫県におけるイカナゴ資源の減少要因に関する研究について」
DIN の変動の理由について解析できているか。	兵庫県資料を提示。 →資料5「3-4. 兵庫県におけるイカナゴ資源の減少要因に関する研究について」